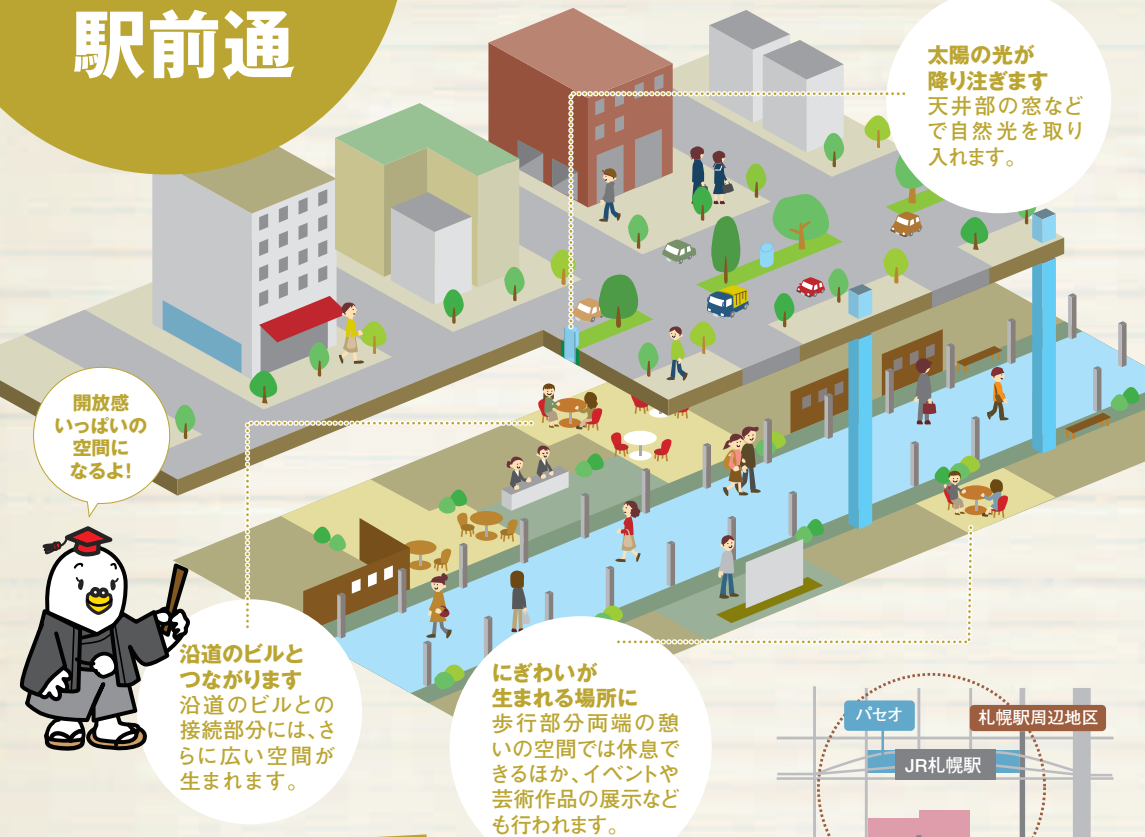
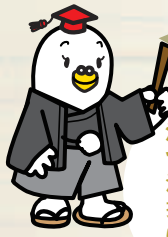


駅前通



太陽の光が降り注ぎます
天井部の窓などで自然光を取り入れます。

開放感
いっぱいの
空間に
なるよ!



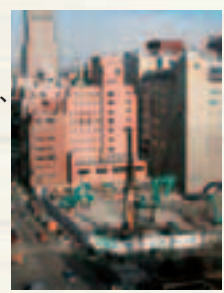
沿道のビルとつながります
沿道のビルとの接続部分には、さらに広い空間が生まれます。

にぎわいが生まれる場所に
歩行部分両端の憩いの空間では休息できるほか、イベントや芸術作品の展示なども行われます。

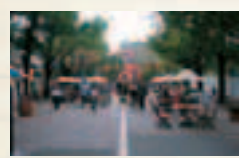
広がる、都市再生

沿道ビルの建て替えが進んでいます

北洋大通ビルや日本生命札幌ビル、三井ビルなどをはじめとする沿道ビルの建て替えが今後進み、駅前通は大きく変わっていきます。



既存建物の地下部分を解体工事中の北洋大通ビル(旧拓銀本店ビル)



平成16年に実験を行い、多くの人出でにぎわいました

道庁赤レンガ前の北3条通りが、将来は広場になります



約
460m

バセオ

札幌駅周辺地区

JR札幌駅

アピア

地下鉄さっぽろ駅

札幌駅前通
地下歩行空間

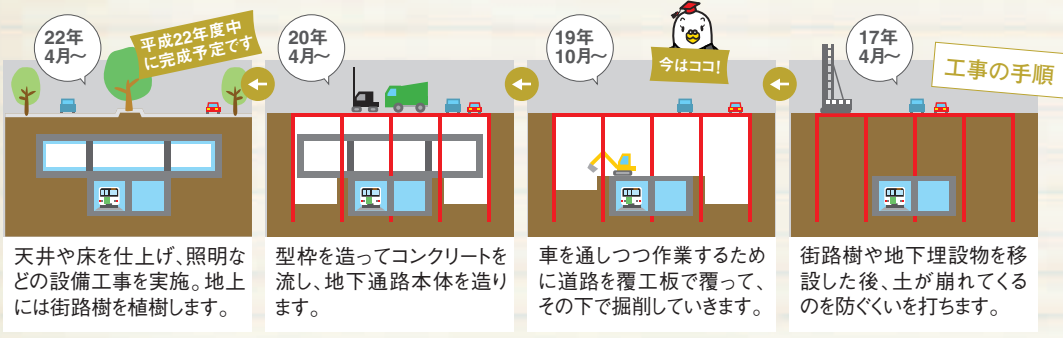
さっぽろ地下街
(オーロラタウン)

地下鉄大通駅

大通・すすきの地区

地下鉄
すすきの駅

地下鉄
豊水すすきの駅



22年
4月~

平成22年度中
に完成予定です

20年
4月~

19年
10月~



17年
4月~

工事の手順

天井や床を仕上げ、照明などの設備工事を実施。地上には街路樹を植樹します。

型枠を造ってコンクリートを流し、地下通路本体を造ります。

車を通しつつ作業するために道路を覆工板で覆って、その下で掘削していきます。

街路樹や地下埋設物を移設した後、土が崩れてくるのを防ぐくいを打ちます。



最後に

今回紹介した2つの工事によって、札幌の都心は大きく変わっていきます。
しかし、魅力的な都心づくりは、施設や道路の整備で完成するわけではありません。どんなに立派な施設があっても、楽しいイベントもなく、ごみだらけの都心だったら、誰も集まりませんよね。これからも、さまざまな取り組みを通して、皆さんが心から楽しめる、にぎわいあふれる都心づくりを進めていきます。

駅前通

歴史ギ

昭和初期

グランドホテルから駅前通を望む



このころ車はほとんど走っておらず、駅前通を路面電車が走っていました。

昭和44年

地下鉄南北線工事



昭和47年の冬季札幌オリンピックに向けて、都心の整備が進められ、地下鉄やさっぽろ地下街ができました。

昭和48年

路面電車の路線縮小



地下鉄開業後、駅前通からは路面電車の姿が消えました。中央分離帯にはハルニレを植樹しました。

平成17年

工事前の駅前通



札幌の都心は駅前通を中心として大きく発展しました。ハルニレは北海道大学構内などへ移植しました。

平成15年
11月
14・15日

市民1000人ワークショップ

